

もっと詳しく



新聞紙や段ボールなどの古紙は、古紙の回収をしている会社が集まってつくられた組合が収集しています。

家庭から出された古紙は組合が買い取り、代金は、みんなが住んでいる地区や子ども会などの活動に使われています。

集められた古紙は、紙をつくっている会社に売られて、
ふたたび紙に生まれ変わります。

※また、市内のお店の一部のスーパーなどで、古紙のポイント制回収を実施しています。



ごみの埋め立て

「燃やさないごみ」などは、『クリンピーの森』と『クリンピーの丘』の2か所の埋立処分場に持ち込まれ、埋め立てられます。



埋立処分場はなくてはならない施設です。

広い埋立処分場にも限りがありますので、ごみを埋め立てることは、なるべく避けたいものです。

※浸出水については水処理施設で処理されています。

もっと詳しく



いわき市では、2か所ある埋立処分場を長持ちさせるため、埋め立てるごみの量を減らす取り組みを進めています。

具体的には、これまで埋め立てていた「燃やさごみの灰」を、人工の石や砂にリサイクルし、道路などの土木建設資材に活用しています。また、使用済みの乾電池も、再び乾電池の原材料としてリサイクルしています。